

令和5年 新年の挨拶

組合長代行 田中 伸一

「新年を迎えて」

昼夜を問わず洋上で安全運航に努められている組合員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。家庭を離れ日夜、船務や漁に励まれている皆さまに対し、心より敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症がいまだ収束しない中、昨年を振り返りますと、アフターコロナ、ウィズコロナの将来ビジョンを見通しながら、長引く景気低迷から回復するために、世界中が努力しているにもかかわらず、2月24日にウクライナにロシアが軍事侵攻し、世界のエネルギーや食糧の安定供給のバランスが崩れ、世界的な物価上昇を惹起し、国際経済の混乱を招き、現在も続く侵攻により、多くの人々が犠牲となっています。また、国内では4月23日に北海道・知床半島沖で観光船が沈没し、乗客と乗員全員が死亡・行方不明になるという痛ましい事故が発生しました。亡くなられた方々に深く哀悼の意を表し、心よりお見舞い申し上げます。

現在の船員社会を取り巻く環境は、海員不戦の誓いに基づく平和な海を希求する活動、海難を撲滅する活動など課題は山積していますが、喫緊の課題として船員後継者の確保・育成があります。四面環海の日本において、海運・水産産業に従事するわれわれ船員の仕事は必要不可欠で、わが国の経済や国民生活を支える船員の確保・育成は、一義的には国の責任であり、海運・水産産業の将来を担う船員後継者の確保・育成に責任をもって取り組んでいただかなければなりません。船員の確保・育成の具現化に向け、諸施策の早期実施を国や関係機関に対し強く求め、関係諸団体との連携のもと、船員養成教育機関の維持・定員拡大に向けた運動を粘り強く展開してまいります。

家庭を離れ、陸を離れた洋上を職場し、これらの国民生活の維持に重要な役割を果たす船員職業は、極めて崇高なる職業であると言えます。国民生活の維持、発展に不可欠な外航海運、内航海運、水産産業の重要性を広く国民に訴えかけ、船員職業の担い手となる若者が気概を持って飛びこめる活気ある産業にしていくために、引き続き、船員職業の啓蒙活動を展開し、港と船舶に携わる労働者・組合員の重要性を説きながら、産別労働組合として全力で取り組む所存です。

最後に、われわれを取り巻く環境は大変厳しくまた、複雑かつ多様化してきています。そのような状況下においても組合員の皆様の付託に応えられるよう責任を果たしていくことをお誓いし、新年のご挨拶といたします。各船のご安航をお祈り申し上げます。

「海員だより」